8. 編集後記

2017年４月、学園本部の総務や人事、短期大学の広報、就職担当を経て、現職となりました。勤続二十●年大阪商業大学へ初めて配属され感じたことは、あらゆる経験・体験ができる仕組みが学内に多く設けられているということでした。学生自身がその仕組みをうまくキャッチできれば、４年間で新たな自分を発見し、成長できるきっかけとなることは間違いありません。

ただし、学生にその仕組みをキャッチさせるのは容易ではありません。私にも経験があります。「学生時代に○○しておけばよかった」だれもが社会に出てから一度は感じることなのではないでしょうか？

そういう意味では、本学の特色教育である起業教育は、カリキュラム外で実践していることもあり、学生に意義を伝えていくのは本当にむずかしいことなのかもしれません。－意義を学生に伝えるにはどうしたらいいのか－。それがしばらく私のテーマになりそうです。なぜコンテストに応募するのか。挑戦することによって自分がどんなふうに成長できるのか。どんな未来が待っているのか。そこを学生たちに丁寧に伝えていきたいと思います。

幸い学内のビジネスアイディアコンテストでは、良い企業様との縁にも恵まれ、実際に学生が考えたアイディアが商品化されています。自分が考えたアイディアがかたちになる、その過程に携わることができることは、学生にとってとても貴重な経験です。今年のコンテストからも商品化に向けて３名の学生たちがチャレンジを始めたところです。そんな学生のチャレンジを陰ながらですが、全力でサポートしたいと思っています。

この一年、学内イベントの運営にいくつか携わりました。そこには学生の達成感いっぱいの表情がたくさんありました。そんな表情にたくさん出会えるよう、学生が自分自身の成長を実感できるような機会を少しでも増やしていきたいと思います。

今年の起業教育研究会は、台風の襲来を受け当日のスケジュール変更を余儀なくされました。ご参加いただきました先生にはお詫び申し上げます。また、参加を予定してくださっていた先生方にも大変ご迷惑をおかけいたしました。起業教育に関する実践報告につきましては、当日やむなく欠席となった三重県立津高等学校の笹山先生にもご協力いただき、予定どおり報告書を作成することができました。ありがとうございました。

今年の開催にあたりご協力いただきました講師の方々及び企画・運営に携わっていただいた起業教育研究会企画委員会の先生方にも感謝申しあげます。

現在、起業教育研究会は次年度開催に向け、プログラムを企画中です。詳細が決まりましたらHP等でご案内させていただきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

これからも高大連携の取組みであります「起業教育研究会」、「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」を皆さまと共に企画・運営していきたいと考えています。先生方の忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いです。

大阪商業大学
総合交流支援課　山内ちづみ